

渋谷駅周辺まちづくりビジョン

～協奏するまちづくりを目指して～

概要版

2016年3月

渋谷区

はじめに

進化する渋谷

渋谷が成熟都市ロンドン・パリ・ニューヨークに並び、世界に誇る渋谷独自のローカルな魅力を強化していくためには、都市の資源や地域特性を再認識したうえで、まちが何を大切にし、何を目指して変化すべきか、対話による探求と共有が必要です。

そのため、渋谷駅周辺まちづくりビジョンでは、渋谷の変化を享受し渋谷駅周辺の個性を最大限に活かすまちづくりに繋がる4つの視点を示し、自由闊達な意見交換の材料として活用することを大きな目的としています。

さらに、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、遊ぶ人、そして渋谷を愛し応援して下さる多様な人々が、世代を超えて交流し未来を語り合い、まちの将来像実現に向けた取組みを発見していく場の創設を提案します。

渋谷駅周辺まちづくりビジョンの背景と目的

■ 渋谷駅周辺まちづくりビジョン策定の背景

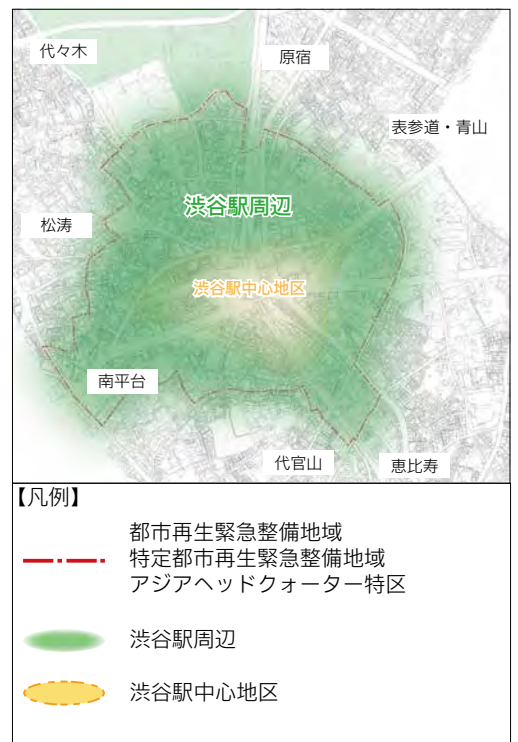
- 渋谷駅の機能更新と再編及びそれと連携した渋谷駅中心地区での大規模再開発によりまちが大きな変革期を迎えています。
- 渋谷らしさの継続や3.11以降の防災や環境に配慮した持続可能なまちづくりを検討する必要があります。
- 行政が主体となって進める部分だけでなく、渋谷に関わる多様な人々が主体となるようなまちづくりの仕組みが必要です。



■ 渋谷駅周辺まちづくりビジョン策定の目的

- 1 渋谷駅中心地区と連携し、将来へ向けて持続可能なまちづくりを展開するための渋谷駅周辺のまちづくりの視点を共有
- 2 住民や様々な世代の渋谷に関わる多様な人々が参加し創り上げていく " 協奏するまちづくり " へと展開

■ 対象エリア



渋谷駅周辺まちづくりビジョンの位置づけ

渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010

【渋谷駅中心地区の将来像】

世界に開かれた生活文化の発信拠点 " 渋谷 " のリーディングコア

住民や渋谷に関わる多様な人々とともに渋谷駅周辺のまちづくりを検討していく視点

渋谷駅周辺まちづくりビジョン

【まちづくりの考え方】

“渋谷”のまちの変化を享受し、渋谷駅周辺の個性を最大限に活かす、
「住民や渋谷に関わる多様な人々」が主役となるまちづくりを検討する

渋谷のまちの発展経緯

谷地形の上に出来上がってきたまちの履歴を知る

まちづくりの視点1

まちの多様な顔を生む

" 渋谷スケール "

まちづくりの視点2

歩いて楽しい

" 渋谷ストリート "

まちづくりの視点3

様々な機能が混在し多様な交流を生む

" 渋谷ライフ "

まちづくりの視点4

世界への発信力を持つ

" 渋谷カルチャー "

実現手法

住民や渋谷に関わる多様な人々とともに創り上げる

" 協奏するまちづくり " の展開

協奏するまちづくりのイメージ：まちを構成する在住者、在勤者、企業等が、渋谷を応援する来街者、学生、研究者など多様な人々と交流し、まちの将来像を語り合うことで、実現に向けた取組みを発見していくまちづくり

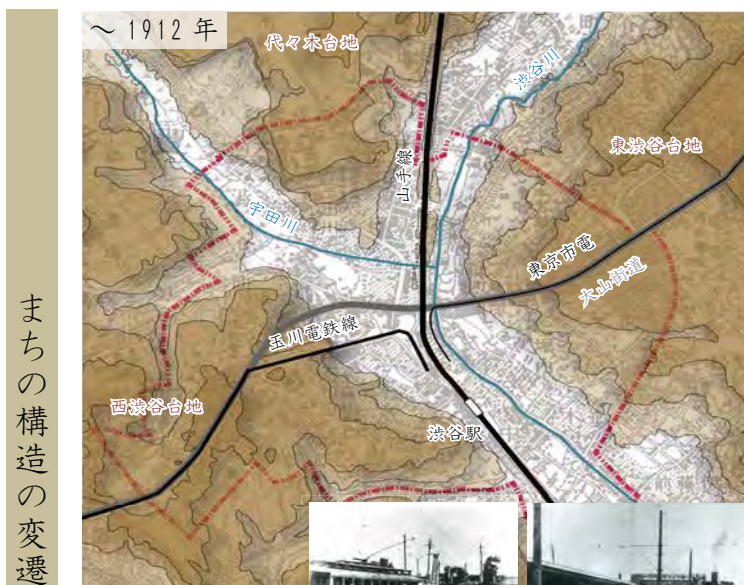
渋谷のまちの発展経緯

谷地形の上に出来上がってきたまちの履歴を知る

渋谷のまちは西渋谷台地、代々木台地、東渋谷台地の3つの台地の間を渋谷川、宇田川が流れ、標高差約20mのすり鉢状の地形の上に成り立ってきました。

■ 渋谷駅周辺での主な出来事とそれによって出来上がってきたまちの構造

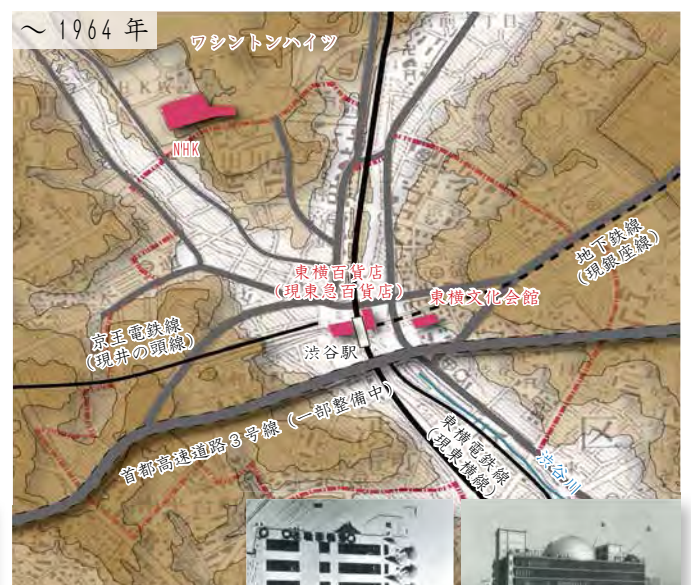
年	江戸		明治			大正			昭和														
	街道沿いの町の形成		鉄道の開通			震災復興			震災復興・高度経済成長														
渋谷駅周辺における主な出来事	江戸初期	江戸後期	1885	1907	1909	1911	1919	1923	1924	1927	1932	1933	1934	1938	1945	1948	1954	1957	1963	1964			
	西渋谷台地・代々木台地・東渋谷台地の形成	上渋谷村・中渋谷村・下渋谷村の成立	日本鉄道開通 渋谷停車場開業	玉川電鉄線開通	渋谷村 町制を施行	東京市電開通	渋谷町役場・公会堂完成	関東大震災発災	渋谷百軒店の創設期	東横電鉄線(現東横線)開通	渋谷・千駄ヶ谷・代々木の三町合併による渋谷区の成立	京王電鉄線(現井の頭線)開通	東横百貨店(現東急百貨店東横店)開業	地下鉄線(現銀座線)開通	第二次世界大戦終戦	戦災復興第8地区土地区画整理事業決定	東急会館(現東急百貨店西館)開業	渋谷地下街63店(現しぶちか)開店	東急文化会館の開業	ワシントンハイツ(現代々木公園)の返還	NHK放送センター完成	首都高速道路3号線開通(一部整備中)	東京オリンピック開催



地図出典：今昔マップ on the web

写真出典：白根記念渋谷区郷土博物館

3方の大地に囲まれた地形に合わせて街道が成立し、特に大山街道沿いは盛り場として栄えました。その谷底に、後の渋谷駅(渋谷停車場)ができ、玉川電鉄が開通しました。



地図出典：今昔マップ on the web

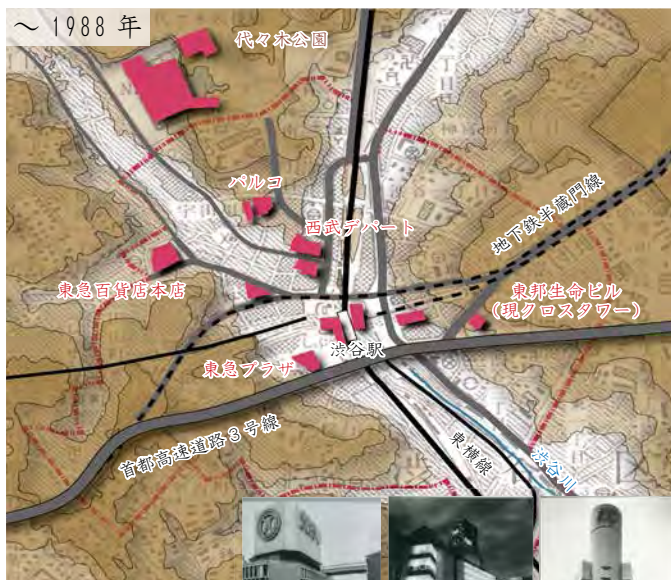
写真出典：白根記念渋谷区郷土博物館

東横百貨店などが開業し始め、買い物を目的とした集客という都市生活の新たな形態を生み出しました。

昭和初期には複数の駅舎が整備され、復興やオリンピックを契機としたインフラ整備を経て、ターミナル駅のポテンシャルを活かした商業集積地・生活文化の発信地として発展してきました。谷地形の上に来上がってきたまちの履歴を認識し、今後のまちの変化へと対応していくことが重要です。

年表参考：図説渋谷区史

昭和										平成												
戦災復興・高度経済成長					商業施設・文化施設等開業による発展					東京オリンピックに向けた都市基盤整備												
1965	1966	1967	1968	1970	1972	1973	1975	1977	1978	1979	1981	1989	1995	2000	2001	2008	2011	2012	2013	2020	2027	
東急プラザ開業	東急百貨店本店開業	西武デパート（A館・B館）開業	渋谷駅西口ビル（現東急百貨店南館）開業	戦災復興第8地区土地区画整理事業完了	パルコ開業	東邦生命ビル（現クロスタワー）	新玉川線（現田園都市線）開通	地下鉄半蔵門線開通	109開業	松濤美術館開業	Bunkamura開業	阪神・淡路大震災発災	マークシティ開業	セルリアンタワー開業	地下鉄副都心線開通	リーマンショック	文化総合センター大和田開業	東日本大震災発災	ヒカリエ開業	東横線・地下鉄副都心線相互直通化	東京オリンピック・パラリンピック	渋谷駅中心地区の整備完了予定

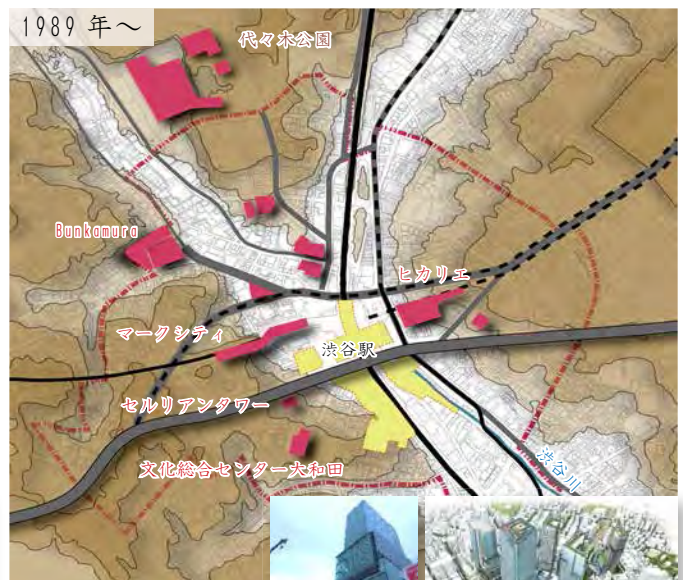


地図出典：今昔マップ on the web



写真出典：白根記念渋谷区郷土博物館

東京オリンピックを契機にインフラ整備が加速するとともに大規模な商業施設が建ち始め、現在の渋谷のまちなみが形成されていきました。



上右図提供：渋谷駅前エリアマネジメント協議会

2027年までに渋谷駅を中心とした大規模開発が進行する予定である渋谷は、現在大きな変革期にあります。

まちづくりの視点1

まちの多様な顔を生む " 渋谷スケール "

渋谷は、地形や時代の変遷に応じて様々な路地ができ、多様なスケールの建物が混在してきたことで、渋谷らしい特徴のある景観が形成されてきました。開発気運が高まっている現在、渋谷らしい多様なスケール感を継承していくことが重要です。

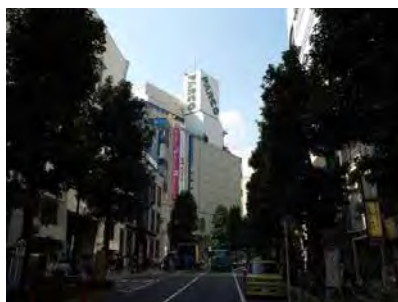
■ 渋谷のまちのスケール例

▶▶ まちの顔・シンボルとなるスケール

個性的なデザインに加え、間口も広く、坂道が分かれる先端などの視認性が高い場所に立地しています。



▲ 109



▲ バルコ



▲ ヒカリエ

▶▶ 連続したまちのにぎわいをつくるスケール

渋谷駅から延びる広い放射状の街路に沿って立ち並び、ストリートの個性を印象づける要素となっています。



▲ Apple Store



▲ タワーレコード



▲ ディズニーストア

▶▶ 界隈性あるまちなみを生むスケール

路地や裏道に沿って、間口の小さな店舗や事務所が密集して立ち並んでおり、そのまちなみが界隈性を生み出しています。



▲ スペイン坂周辺



▲ 井の頭通り（ハンズ通り）周辺



▲ 百軒店周辺

まちづくりの視点2

歩いて楽しい " 渋谷ストリート "

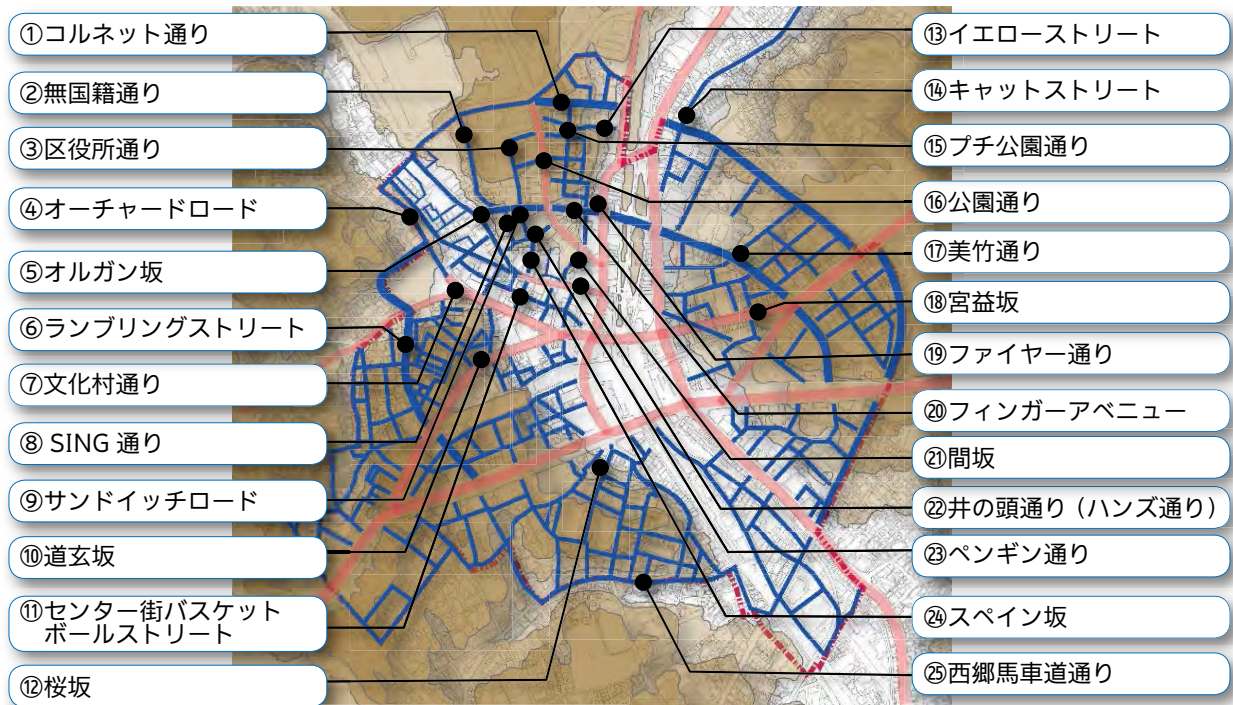
渋谷は、起伏に富んだ谷地形の上に広がる放射状街路の中に、入り組んだ路地がつながっており、複雑な道のネットワークが構成されていますが、一方で東京駅周辺は碁盤の目状で平坦な構成です。渋谷の個性的なストリートで育まれてきた文化を、どのように継承し、さらに発展させ、発信していくかということが、渋谷が魅力を持ち続けるためには重要です。

■ 渋谷駅周辺と東京駅周辺におけるストリートの比較



出典：基盤地図情報（国土地理院）

■ 渋谷のストリートの名前



参考：渋谷区 HP 「通りの名前」



▲道玄坂



▲センター街バスケットボールストリート



▲公園通り



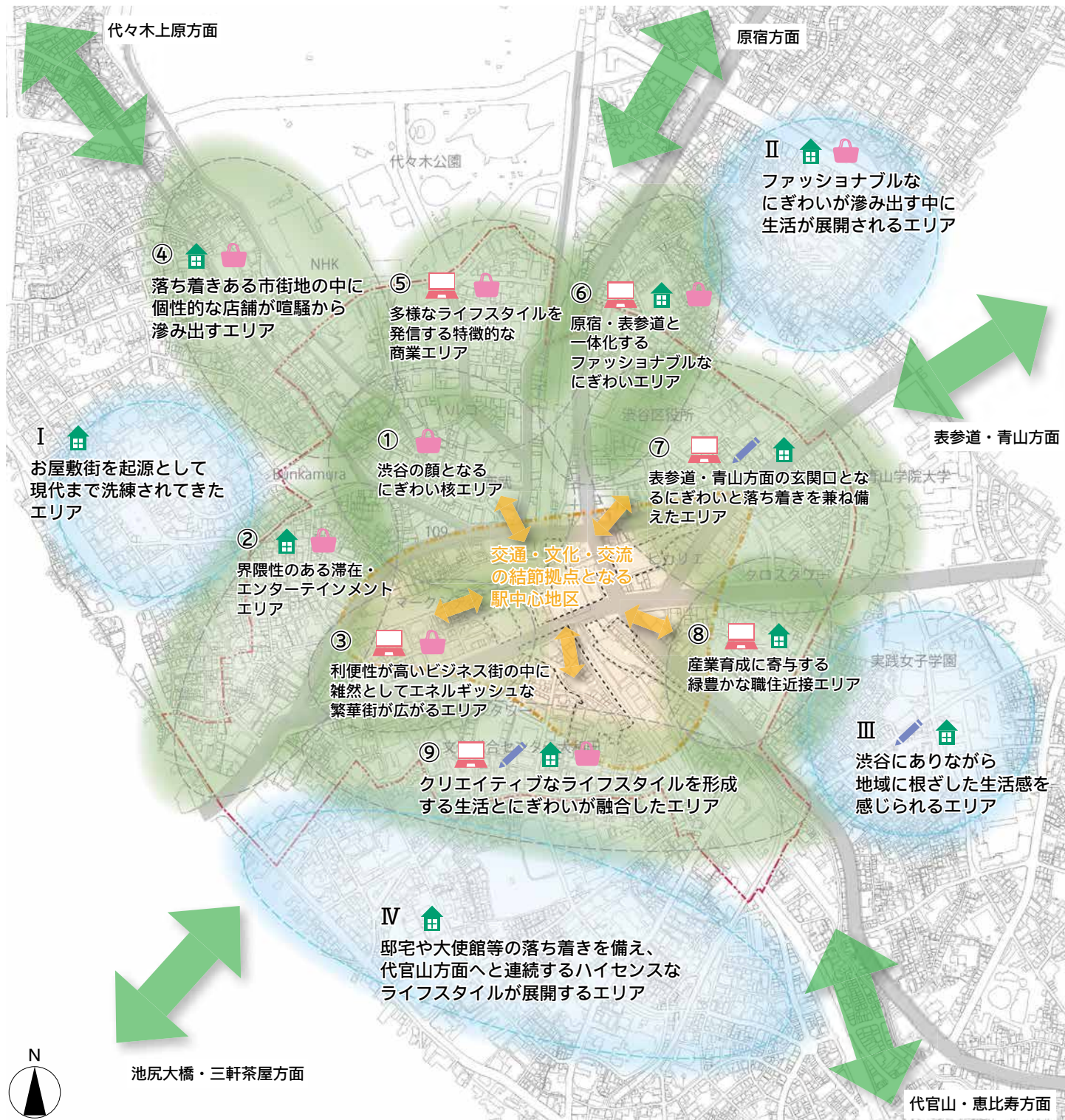
▲スペイン坂

まちづくりの視点3

様々な機能が混在し多様な交流を生む " 渋谷ライフ "

生活文化の発信地・商業集積地としての歴史を積み重ねてきた渋谷駅周辺では、多様な機能が混在する様々な個性を持ったエリアが広がっています。今後は、各エリアの個性を活かしつつ、周辺エリアとの連携を図るまちづくりが重要です。

■ 渋谷駅周辺の個性的なエリア



各エリアの中心的な機能イメージ

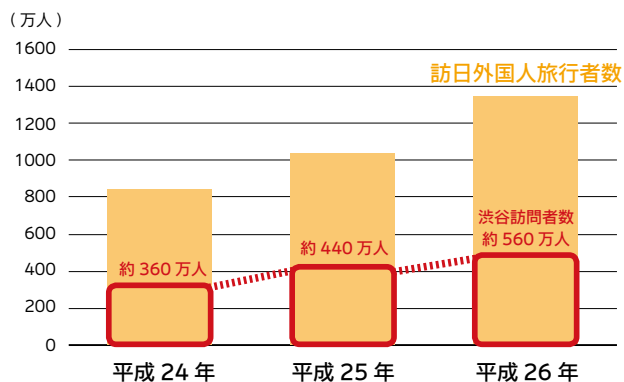
- : 働く
- : 学ぶ
- : 住む
- : 遊ぶ

まちづくりの視点4

世界への発信力を持つ " 渋谷カルチャー "

渋谷には多くの文化発信施設が立地しており、多様な文化に触れられる環境が形成されています。また、近年多くの外国人旅行者も訪れています。国内外の人々が多様な文化に触れることができる渋谷のよさを考えることが重要です。

■ 渋谷に訪れる訪日外国人旅行者数の推移



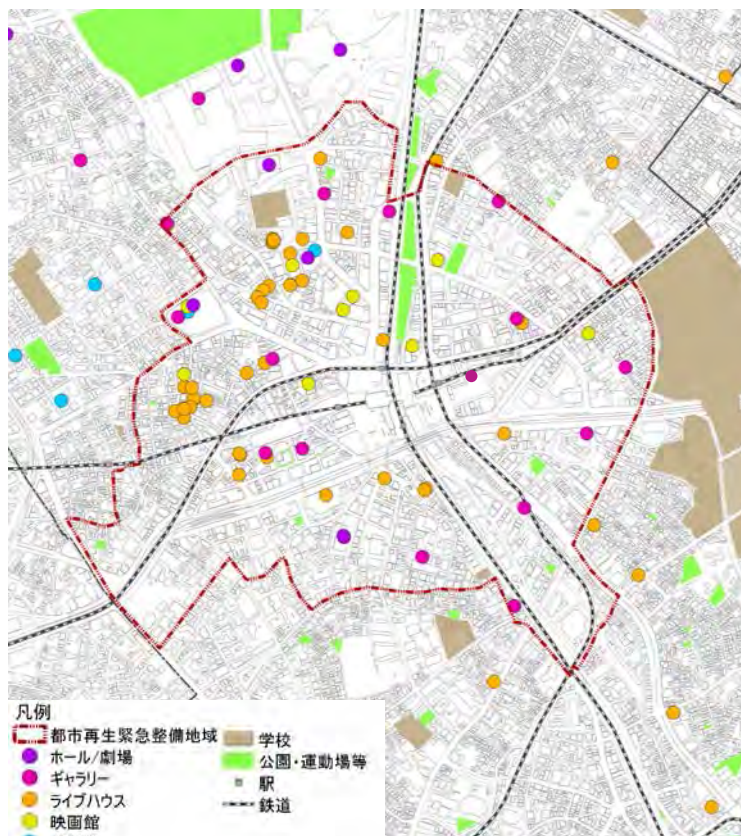
■ 渋谷区の観光名所ランキングと口コミ数

ランキング	観光場所	ランキング	観光場所
1	明治神宮	9	新宿タカシマヤ
2	渋谷駅前 スクランプル交差点	10	渋谷ヒカリエ
3	代々木公園	11	エビスビール記念館
4	原宿竹下通り	12	新宿サザンテラス
5	表参道	13	東京ジャーミール文化センター
6	渋谷センター街	14	Bunkamura
7	ハチ公像	15	浮世絵大田記念美術館
8	渋谷キャットストリート		

出典：国別外国人旅行者行動特性調査（H24～H26）
年別訪日外客数、出国日本人数の推移（日本政府観光局 H27）

出典：トリップアドバイザー®(H28.3)

■ 文化発信施設の立地と多様な文化のイベント



出典：基盤地図情報（国土地理院）



▲金王八幡宮例大祭



▲渋谷ファッションウィーク



▲渋谷芸術祭

住民や渋谷に関わる多様な人々とともに創り上げる " 協奏するまちづくり " の展開

渋谷区は、平成 26 年度に開催したシブヤパブリック展で渋谷駅中心地区の将来像を展示しました。また、官民が連携して開催した工場現場見学やワークショップなどを通じ様々な人々に対し渋谷の将来像を発信してきました。また、平成 27 年度にはシンポジウムを開催し、渋谷のまちづくりに様々な人々が関わる場づくりを開始しました。

■ これまでの取り組み

① シブヤパブリック展 ～渋谷駅周辺のまちづくりと都市デザイン～

- 渋谷駅周辺の長期にわたる再開発事業、そのダイナミックな将来開発計画と " 渋谷らしさを強化する " まちづくりの取り組みを紹介しました。
- 平成 26 年度に計 3 回開催され、延べ約 13,000 人の方にご来場いただき、渋谷駅周辺のまちづくりへの多くの期待や要望の聲が寄せられました。



▲シブヤパブリック展の様子

② 渋谷のミライを発見するワークショップ

- 渋谷駅前エリアマネジメント協議会* では、渋谷をもっと好きになってもらえるような取り組みを進めています。
- 渋谷のまちが変身する過程を、工事現場見学を通して体感することが出来る親子ツアーや、取り壊し前のオフィスビルを舞台とした子どものワークショップなどが開催されました。

* 渋谷駅前エリアマネジメント協議会：渋谷駅周辺の開発事業者、渋谷ヒカリエ工管理組合、国土交通省東京国道事務所、東京都第二建設事務所、渋谷区から構成される協議会



▲ワークショップの様子

③ 未来の渋谷の可能性をひろげるシンポジウム ～ Making Maybe. " かも " づくりフューチャーセッション～

- 未来の渋谷の可能性をひろげるため、渋谷らしい暮らし方、遊び方、働き方を考えるシンポジウムを開催し、広い視野や様々な角度からゲストと会場が一体となった対話が展開されました。
- このシンポジウムを経て、区民・町会・商店会・企業・行政などが協力して、多様な人々による様々なアイデアの実現を目指していく仕組みづくりの輪を広げていくことをお伝えしました。



▲シンポジウムの様子

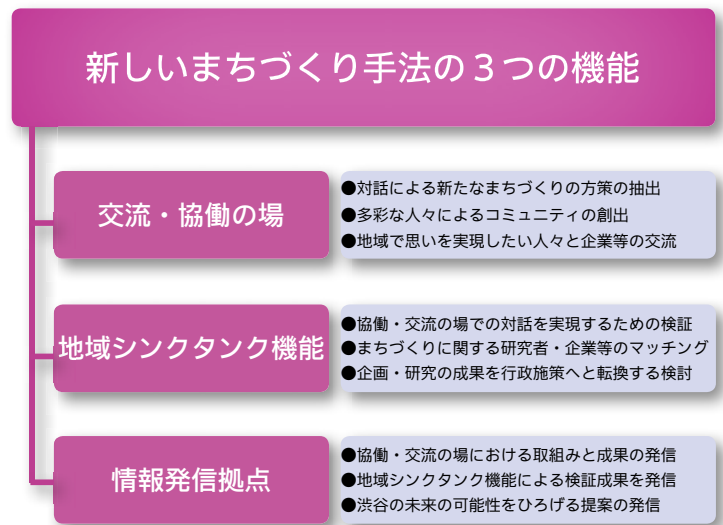
様々な人々に対する渋谷の将来像の発信

渋谷のまちづくりに様々な人々が関わる場作り

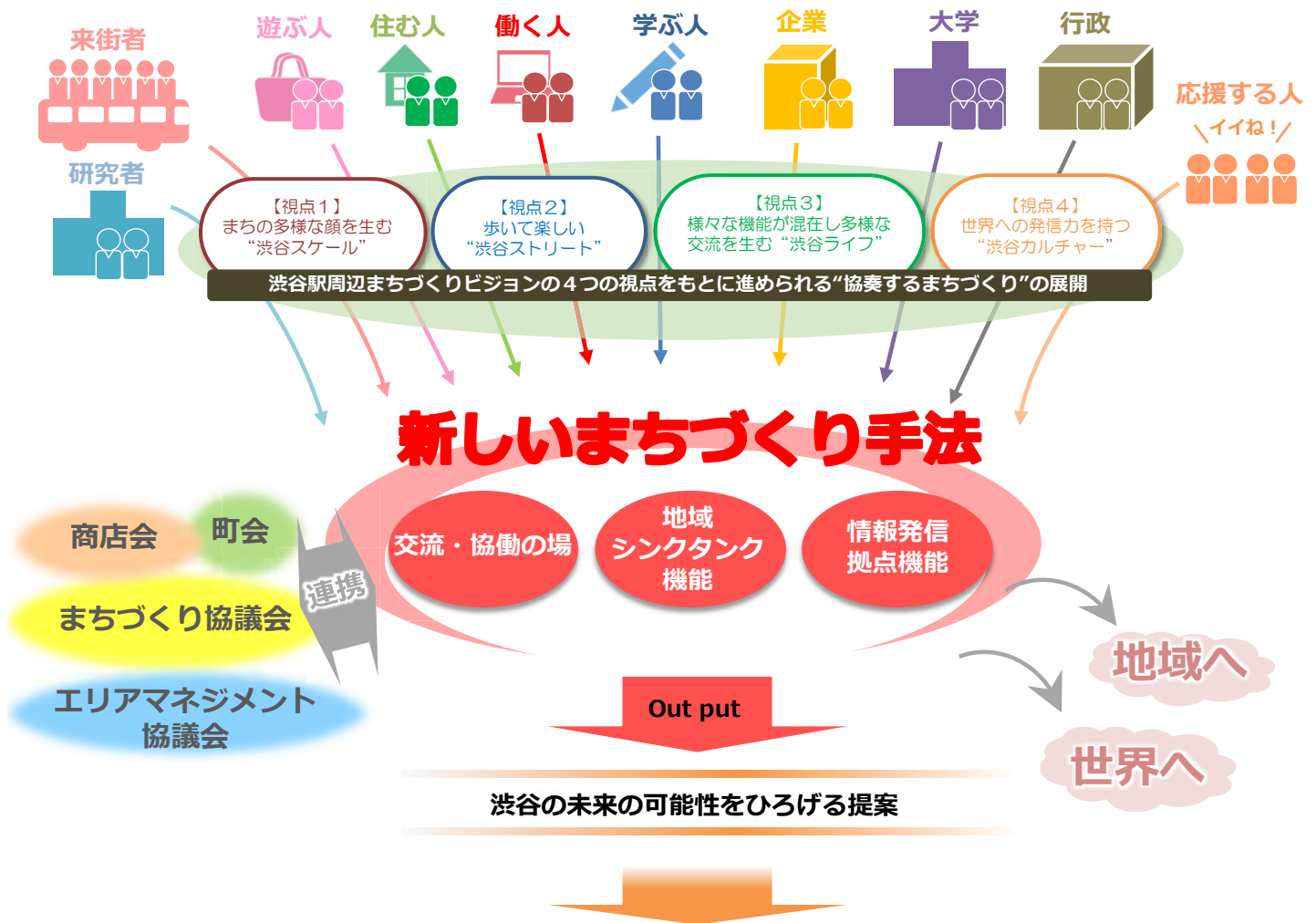
新しいまちづくりの取組みについて

まちを構成する区内在住・在勤者・在学者、企業等が、渋谷を応援する多様な人々（来街者、学生、研究者など）と交流し、まちの将来像を語り合う中で、実現に向けた取組みを発見していく新しいまちづくりを検討します。

新しいまちづくり手法では、多様な視点で渋谷駅周辺のまちづくりを話し合う協働・交流の場を設け、地域ニーズについて検証・検討を進める地域シンクタンク機能と、インフォボックス等との相互連携による情報発信拠点機能の創出を目指します。



■ 新しいまちづくり手法のイメージ



『生活文化の発信拠点“渋谷”の実現』



お問い合わせ先

渋谷区 都市整備部 渋谷駅周辺整備課

〒150-8010 東京都渋谷区渋谷 1-18-21 (仮庁舎)

TEL : 03-3463-2628 (ダイヤルイン)

FAX : 03-5458-4918